

千代田区の教育

“つなぐ・つなげる 千代田の教育” 「共育」
 ～誰もが輝ける未来を創造する 子どもの育成をめざして～

和泉小学校の最上位の理念 使命 (ミッション)

私たちは、全ての児童の生命 (生存権)、人権、学習 (学習権) を大切にします。
 “誰一人 取り残さない”

和泉小学校のビジョン ～変化の激しい予測困難な社会を生きていくために～

全ての児童が 笑顔で主体的に学び合う学校
 “教職員、保護者、地域の方もみんなで、子どもを中心に学び合う”

ビジョンを実現するために大切にしている価値 (バリュー)

“3S (信頼、尊敬、承認) 2T (対話、多様性)”

- 信頼** 児童、教師、保護者・地域 間の信頼関係が教育活動を効果的、円滑に進める基盤となる。
- 尊敬** 児童、教師、保護者・地域 間に尊敬や尊重があって、学び合いの意味がある。
- 承認** 児童、教師、保護者・地域 が承認し合うことで、自己肯定感や学ぶ意欲が高まる。
- 対話** 児童、教師、保護者・地域 が対話を大切にすることで、相互理解と学び合いが成立する。
- 多様性** 児童、教師、保護者・地域 の多様性を大切にすることが、生存権、人権、学習権の基盤となる。



目指す児童像 = 学校教育目標

人にやさしく 自分につよく 明るく元気な 和泉の子
 “自己肯定感 になりたい自分 (自分軸) チャレンジ”

行動規範 ～「弱み」も「強み」も出し合える私たち～ ※心理的安全性の醸成 C:子ども T:教師 P:保護者 O:地域

★エビデンスに基づく学校経営・・・「学校評価」等のデータをもとに経営方針を立案する

- よさ**を生かす C:明るく元気 学校図書館活用区でトップ 知識理解 高 T:対話力、主体性向上 学び合う組織力 高 P:学校への協力と保護者、地域の連携 (祭り) 良好 O:歴史と伝統ある地域、こども園併設
- 課題**を克服 C:「主体的に学習に取り組む態度」「思考力・判断力・表現力」は芳しくない 特別な支援を要する児童多い (24名) 多様 不登校 (0名) いじめ (0件) T: 思考力・判断力・表現力を高める授業改善必要 児童を的確に見取る力、評価方法が不十分 学び合う組織として率直に伝えることにとまどいがち 批判力が弱い ミドルLの主体性低下 P・O:見えにくい教育活動 コロナ禍により地域とのつながり低下

★重点的に何をするのか

- 1 児童の自己肯定感を高める <傾聴、承認、質問、尊敬・尊重、寄り添う>
 - ・支持的、共感的学級風土の醸成 ・合理的配慮 ・不登校、いじめを限りなく0にする支援の仕方を工夫
 - ・特別支援教育に学び、支援を要する児童にかかわる ・教室が居場所 ・ファミリー班活動のさらなる充実
- 2 児童の主体的な学び合いを促進する <教師はファシリテーター、児童同士の関係づくり>
 - ・全員参加の学び合い ・探究課題「になりたい自分」(生・総中心) ・教師の児童を見取る力を磨く
 - ・一部教科担任制 (4～6年 理/社、5～6年 外国語/家庭、3～6年 体育、2～6年 音楽、1～6年 図工)
 - ・校内研究の連続性と充実 (R4・5区研究協力校) ・GIGA スクール構想によるICTのフル活用
 - ・電子図書館「よもっか」の活用 ・キャリアパスポートの活用 ・主体的な学習を促す「和泉スタイル」
- 3 保護者・地域、プロ等との協働による教育活動の創造 <社会に開かれた教育課程>
 - ・保幼小中連携教育 ・オンライン等での積極的なつながり ・教育活動の積極的発信 ・地域の方々とのつながり、学ぶ職業体験、アントレプレナー教育 ・校舎建て替えによる学び合いの環境づくり
- 4 人材育成 <自己肯定感の高い教師を育てる、イラショナル・ピリーの撤廃>
 - ・学び合う場としての職員室 ・教師同士の日常的な授業観察 ・日常の授業改善のための校内研究
 - ・教師一人一人の強み、得意を生かした学び合いの時間 ・コーチングを生かしたコミュニケーション